

タイトル (40 字)

知って得する！SNS で医学情報を発信するコツと法的注意点

英文タイトル (80 字)

Tips for Social media by Ophthalmologists with legal aspects

ショートタイトル (15 字)

SNS 発信のコツと法的注意点

発表順

有田玲子 (伊藤医院)、野田実香 (井上眼科病院・慶應大)、平松類 (二本松眼科医院)、
家近知直 (弁護士法人第一法律事務所)

抄録 (600 字)

パソコン、スマートフォンの普及とともに爆発的に広がっているのは SNS (Social networking services) である。SNS とは皆さんよくご存じの米国元大統領が毎日つぶやいていた Twitter などに代表される Facebook、Instagram、YouTube、メルマガ等をさしている。YouTuber は、いまや日本国内の小学生になりたい職業の 1 位になるほど普及している。はたして、SNS による情報発信はエビデンスのもとに正しく行われているのだろうか？巷では、眼科医でない第三者が眼科診療の情報発信を行っていることも多く見受けられる。そこで今回のコースでは、世の中のために眼科医がどのように SNS を活用して情報発信していけばいいのか、SNS 初心者から SNS 経験豊富な眼科医とこの分野に明るい弁護士で、法的観点も交えながらわかりやすく解説する予定である。

1. SNS の医療業界における役割と意義

それを実現するためのルールとセットアップ

2. ウェブサイト、YouTube による患者教育、Facebook、Instagram を用いた健康相談の現状

3. 各 SNS の特性、長所と短所

SNS (YouTube, Twitter, Facebook) の特性と注意点

YouTube を使った情報発信の始め方

発信することのリスクと対処法

4. 厚生労働省によるオンライン診療に関するガイドラインの解説

SNS 等を通じたやり取りにおいて知っておきたいルール

シラバス（1200 字以内）

（必要性、意義）現代の世の中で、パソコン、スマートフォンの普及とともに爆発的に広がっているのは SNS（Social networking services）である。SNS とは Twitter、Facebook、Instagram、YouTube 等をさしている。いい、悪い、好き、嫌いにかかわらず、今後の世の中で SNS と切り離して生きていくのは難しいと言わざるを得ない。しかし、実際に SNS の中身を確認してみると、SNS による情報発信は、眼科医でない第三者により行われていることが多く、その内容もエビデンスを伴わないものも多い。そこで今回のコースでは、世の中のために眼科医がどのように SNS を活用して情報発信していけばいいのか、SNS 初心者から SNS 経験豊富な眼科医とこの分野に明るい弁護士が集まり、自分の実体験をもとに困った点、注意している点、困ったときの対処法、やるべきことを法的観点も交えながらわかりやすく解説する予定である。

（分担）

① インTRODakション（担当：有田玲子 5 分）

このコースの開催理由と目的の説明、発表者と発表内容の分担の紹介

② YouTube をはじめとした SNS の活用法とその意義（担当：有田玲子 15 分＋質疑応答 2 分）

患者用教育動画の作成

③ ウェブサイト、YouTube による患者教育、Facebook、Instagram を用いた健康相談の現状（担当：野田実香 15 分＋質疑応答 2 分）

④ 各 SNS の特性、長所と短所（担当：平松類 15 分＋質疑応答 2 分）

⑤ 厚生労働省によるオンライン診療の適切な実施に関する指針の解説（担当：家近知直 15 分＋質疑応答 2 分）

⑥ 総合討論（17 分）

（得られる結果、達成目標）

1. 世の中に正しい眼科診療の情報を提供することの重要性を認識すること
2. 眼科医が SNS を通じた情報発信を正しく行うきっかけを提供すること
3. すでに SNS 情報発信を行っている眼科医の実体験のシェアにより事前にリスクマネジメントを行うこと
4. 相互コミュニケーションによる健康相談の法的根拠とその理解
5. 想定外のトラブルに巻き込まれないための法的アドバイスの提供